

第407回 東京大学図書行政商議会議事要旨

日 時 平成24年11月16日（金） 10:00～11:00

場 所 総合図書館3階 大会議室

出席者 <委員長> 古田元夫 <副委員長> 石田英敬、根本 彰 <委員> 久保文明、
岩坪 威（代）、田畑 仁、土居 守、本間正義、伊藤正直、橋本毅彦、村田茂穂、
松本 眞、月橋文孝、今井 浩、橋元良明、山梨裕司、栗田 敬、真鍋祐子、大湾秀雄、
畑中研一、保谷 徹、川崎雅裕、勝本信吾、安田一郎、菅原 琢（代）

※(代)は代理出席者

<オブザーバー> 酒井哲哉、中川裕志（代）、堀 浩一、林 香里

欠席者 月本雅幸、白髭克彦

列席者 田中成直、高橋 努、木下 聡、北村照夫、風巻利夫、増田晃一、茂出木理子、福井明美、
吉田左貴子、大澤正男、風巻みどり、合田美恵子、藤本蒂子、野口真理子、濱田すみ子、
森田美由紀、本多 玄、久保田壮活、金藤伴成、山崎裕子、坪 陽子

配付資料

1. 第406回図書行政商議会議事要旨
- 2-1. 全学共通経費による基盤的学術雑誌等の整備について（サービス特別委員会）
- 2-2. 平成25年度から新たに全学で冊子が1部もなくなる雑誌のうち全学共通経費で購読継続する雑誌
- 3-1. 平成25年度大型コレクションの募集について（案）
- 3-2. 大型コレクション収集計画書の作成について
- 3-3. 全学共通経費（第2期）による基盤的学術雑誌等整備の大型コレクションに関する収集方針
- 3-4. 全学共通経費（第2期）による基盤的学術雑誌等整備の大型コレクション収集に関する運用指針
- 3-5. 大型コレクション収集枠における学術雑誌の電子アーカイブに関する申し合せ
- 3-6. 大型コレクションにおけるサーバ維持費等のメンテナンス経費（年間維持費）について（中間まとめ）
4. 平成24年度第2回図書行政商議会附属図書館サービス特別委員会議事次第
5. 東京大学総合図書館利用規則及び利用細則の主な改正点

参考資料

東京大学新図書館 アカデミック・コモンズ 寄附パンフレット
平成24年度東京大学附属図書館特別展示「鷗外の書斎から」

<開 会>

- ・古田委員長の主宰のもとに開会した。
- ・古田委員長から代理出席者の紹介があった。

<議 事>

1. 前回議事要旨の確定

古田委員長から、第406回議事要旨を資料1のとおり確定し、ホームページで公開した旨報告があった。

2. 協議事項

(1) 全学共通経費による基盤的学術雑誌等の整備について

畑中サービス特別委員長から、資料2-1の1について、平成25年度外国雑誌購入調査（部局経費分）の結果、全学共通経費から部局経費へ移行した冊子のうち新たに全学で冊子が1冊もなくなる雑誌は86タイトルであり、この中から本学において冊子の維持が必要であると思われる雑誌を各部局から2点まで推薦いただいた結果、7部局から推薦された10タイトルのうち資料2-2の3タイトルを選定したとの報告があった。引き続き資料2-1の2、平成26年度以降に全学で冊子が1部もなくなる雑誌の取扱いについて、1. 全学で冊子が1部もなくなる雑誌の推薦調査は、平成25年度調査でタイトル数が激減していることや、値上がり分に備え全学共通経費財源の確保の面から今年度で終了し、新たに冊子が1部もなくなる雑誌が生じた場合でも全学共通経費による購読継続は行わない。2. 購入調査の結果新たに全学で冊子が1部もなくなる雑誌が生じた場合は、各部局図書館・室に該当タイトルリストを公開し、購読中止の撤回または別の部局による新規購入を可とするシステムとするとの提案があり、異議なく了承された。

(2) 大型コレクションの募集について

畑中サービス特別委員長から、資料3-1のスケジュールに沿って大型コレクションの募集をすることが提案された。また電子資料にかかる年間維持費に係る取扱いについては前回了承された資料3-6を資料3-3収集方針、資料3-4運用指針、資料3-5電子アーカイブに関する申合せにそれぞれ反映させたので確認していただきたいとの発言のあと、主要な点としては推薦部局から継続申請書が出された場合には、年間維持費は平成24年度から平成27年度までの期間については全学共通経費の大型コレクションの年間購入予算額3000万円の枠の中から支払い、平成28年度以降は別途協議するということが説明された。委員から、平成28年度以降は部局の負担になるのか、その場合の毎年の負担額はいくらになるのかとの質問に対し、木下情報管理課長から1件3万円から20万円の範囲で増えていく見込みであること、この3年間は共通経費で支払うが、その後に関しては適切な処置をとりたいとの回答があり、審議の結果、平成25年度大型コレクションの募集について（案）が了承された。

3. 報告事項

(1) 新図書館構想の進捗について

古田委員長から進捗状況について次のような報告があった。平成25年度概算要求は文科省から財務省へ提出されていること。来年度予算の見通しが不透明なため予断は許さない状況ではあるが、東京大学としては前向きに計画を推進していくことになっていること。11月8日の役員懇談会で報告、審議されたのを踏まえて11月20日の科所長会議で進捗状況を報告する予定であること。東京大学の基金のプロジェクトの一つとして新図書館計画を加え、10月22日のホームカミングデイに向けて本格的な寄付事業をスタートさせたこと。作成した寄付パンフレットの名称が東京大学新図書館アカデミック・コモンズとなっているが、概算要求を出した際の事業名称との整合性を

っており、新図書館の正式名称については、全学のしかるべき場で決定すべき事項と考えていること。今後の工事日程については概算要求の見通しがついたならば埋蔵文化財調査に入り、来年の秋以降本着工の見通しで計画を進めていること。噴水の扱いについては、水槽を撤去するが構造物を残す予定であること等。委員から、寄付の特典についての質問・意見等あり、古田委員長から実際の状況を見ながら改善等について考えていきたいとの発言があった。

(2) 附属図書館サービ特別委員会報告

古田委員長から、協議事項で説明したので割愛するとの発言があった。

(3) 総合図書館運営委員会報告

北村情報サービス課長から、資料5にもとづき東京大学総合図書館利用規則及び利用細則の主な改正点についての報告があった。「サービス向上のため、書庫に入庫できる身分を拡大する」ということについては、古田委員長から、新図書館構想で現在の書庫を開架スペースに改修する予定であり、貴重な図書に関しては、将来は簡単には立ち入れない場所に別途保管するという見通しの下に利用規則の改正に至ったとの補足説明があった。委員から、学部研究生とは大学院研究生、研究所研究生も含まれるのかとの質問があり、古田委員長から全部含まれるとの回答があった。また、委員から別途保存、整理する貴重な図書の選定、範囲について検討する必要があるとの意見があり、古田委員長から、選定基準については至急新図書館構想の協議の中で検討をさせていただく。選定作業にあたっては各専門分野の研究者の協力が必要となるので、進め方について図書行政商議会に諮りながら、各部局の協力を求めたいとの発言があった。

(4) 平成24年度附属図書館特別展示の開催について

北村情報サービス課長から、机上配付された展示資料をもとに、10月18日から本日まで森鷗外生誕150年を記念して、総合図書館3階で特別展示会を実施しており、昨日までの見学者数は1507名、11月2日の記念講演会には90名の参加者があったとの報告があった。

4. その他

古田委員長から次回の図書行政商議会は平成25年3月13日午前を予定している旨の発言があった。

〈閉 会〉